

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名	KINETIC EMERALD	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.490	△RG	0.038	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

テストボール： KINETIC EMERALD

フレアーの幅 インチ

表面加工

- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

PAPからピンとの距離 インチ

4-1/2

番

研磨剤

比較対照ボール： HEAT

フレアーの幅 インチ

表面加工

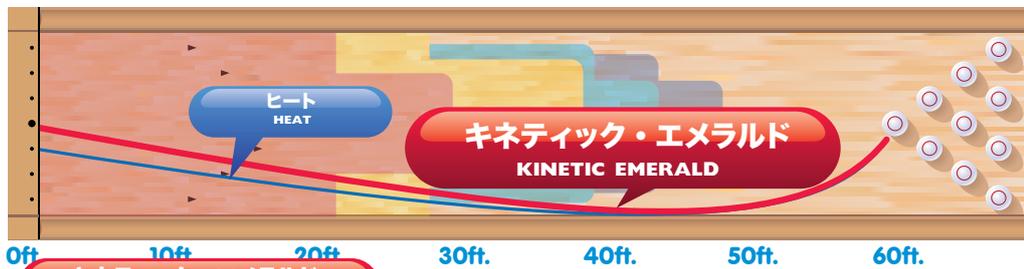
- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

PAPからピンとの距離 インチ

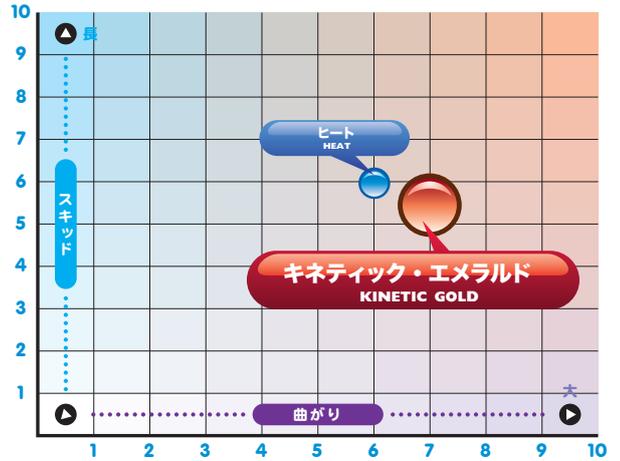
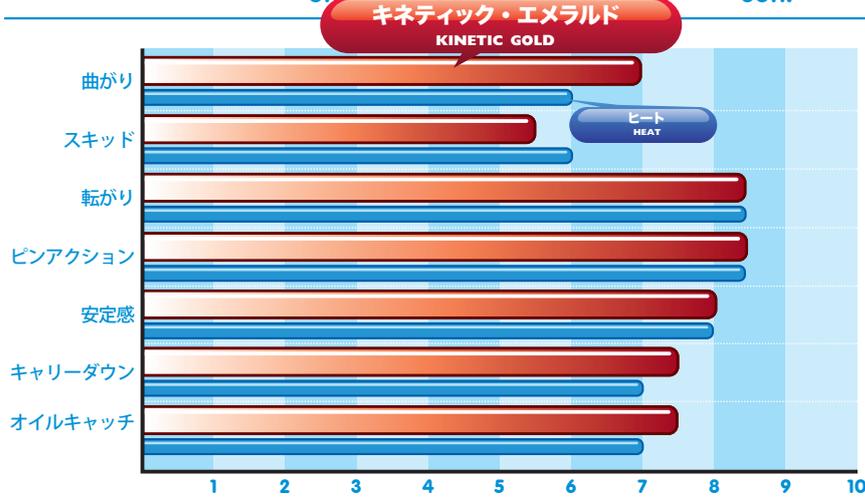
4-1/2

番

研磨剤



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



レーンコンディション

バックエンドリアクション

レンジス

Light Oil, Light to Medium, Medium Oil, Medium to Heavy, Heavy Oil

Smooth, Smooth to Arc, Arc, Arc to Sharp, Sharp Angle

Early Roll, Early to Med, Med-Lane, Med to Late, Late Roll

ボールの評価

2014年12月KINETIC GOLDを発売して以来、約2年の歳月を越えてKINETICが復活致します。日本のみならず世界的に愛され、多くのユーザーが復活を待ち望んだNEW KINETICの全貌は、このKINETIC EMERALDで余すことなくPerformanceで表現できるとTRACK社は自信を持って送り込んできました。KINETIC EMERALDはこれまでのKINETICシリーズの中で最も先でシャープに動くよう設計されましたが、特筆すべきは今回特別に調合されたHybrid Cover Stockでしょう。Black SolidとEmerald Pearlの組み合わせで幾度となるテストを繰り返して、「Skid」と「Backendの鋭いGrip」がMid Performanceでは最高峰の領域に仕上げることがTRACK社とABSボール開発チーム双方の願いでもありました。ただ単に配色を変えてKINETICとして発売するのではなく、今でも日本のファンが待ち望んでいるModified KINETIC CoreのTechnologyを用いて今までと別次元のボールとして復活させる、KINETIC EMERALDを投球したユーザーは「歓喜と高揚」を感じて頂けるでしょう。TRACK社の黄金期を支えたNumberシリーズで数多くのKINETIC Coreのボールが活躍しました。あの頃のイメージを現代のCoverstockに置き換えtuneupさせるとここまでBackendの鋭さが増す現象をその目でみることになるでしょう。オイルに流されないレベルの高いSkidとブレーキを感じさせる反応の良いドライゾーンでのグリップ。当時のKINETICはMid Performance領域ではなくてはならない存在でしたが、このKINETIC EMERALDもきっとあなたのレパートリーの中に組み込むボールとなるはずです。Medium から上のPerformanceが主流で発売される事情で、軸となり信頼性の高いMid Performanceのボールをチョイスすることがスコアに直結します。その時あなたはKINETIC EMERALDを選ばず何のボールを投球しますか？

特記事項

待ち望んだボール、KINETICが新たなPerformanceで復活です。Hybrid Cover Stockならではのスキッドとキャッチ、Backendのバランスの取れた曲がりとは必見！レパートリーの中核になるボールとなるでしょう。